

地震予知とあなたのくらし③

「マグニチュード」と「震度」はよく混同されます。マグニチュード(略してMで表わされる)とは、地震そのものの規模を示すものです。

昭和49年の伊豆半島沖地震は、M6.9で、関東大地震はM7.9でした。Mの値が「1」違えば地震のエネルギーは約30倍、「2」違えば約1,000倍の違いがあります。マグニチュードの大きさと地震の呼び名の関係は次のようです。

(マグニチュード)

7以上

5~7

3~5

1~3

1以下

(呼び名)

大地震

中地震

小地震

微小地震

極微小地震

なお、M8程度になると「大地震」と呼ばれることがあります。



震度とは、それぞれの場所で実際の揺れがどのくらい激しかったかを

示す度合です。震度は地震の規模(マグニチュード)の大小、震源からの距離、地盤の良し悪しに左右され、同じ地震でも場所によっては違います。マグニチュードが小さくても震源に近いほど、また軟弱な地盤ほど震度は大きくなります。去る1月14日の伊豆大島近海地震の場合、マグニチュードは7でした。震度は各地で異なり、一番震源地に近い大島が震度5、静岡、東京は4、御前崎は3浜松が2でした。



気象庁が定めた震度をきめる目安は次のようなものです。

震度0(無感)

人体に感じないで、地震計に記録される程度。

震度1(微震)

静止している人や、特に注意深い人だけに感ずる程度。

震度2(軽震)

大勢の人に感ずる程度のもので、戸や障子がわずかに動くのがわかる程度。

震度3(弱震)

家屋がゆれ、障子がガタガタ鳴動し、器内の水面の動くのがわかる程度。



震度4(中震)

家屋の動ようが激しく、すわりの悪い花びんなどは倒れ器内の水はあふれ出る。歩いている人にも感じられ、多くの人は戸外に飛び出す。

震度5(強震)

カベに割目がはいり、墓石、石どうろが倒れたり煙突、石垣などが破損する。

震度6(烈震)

家屋の倒かいは30度以下で、山くずれがおき地割れを生じ、多くの人は立っていることができない。

震度7(激震)

家屋の倒かいが30度以上におよび山くずれ、地割れ、断層などを生ずる。

4月の当直医



休日当直医院は、富士市医師会が急病患者のために定めたものです。当直医院は急病のときだけご利用ください。

■4月9日

外科 山崎医院(厚原 71-3315)
中央病院(本市場 61-8800)

産婦人科 遠藤医院(吉原3 52-1941)

■4月16日

外科 望月医院(本市場 61-8075)
渡辺病院(錦町1 51-3751)

産婦人科 谷医院(八幡町 61-0039)

■4月23日

外科 川村医院(富士中島 61-4050)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 武田医院(西宮島63-5122)

■4月29日

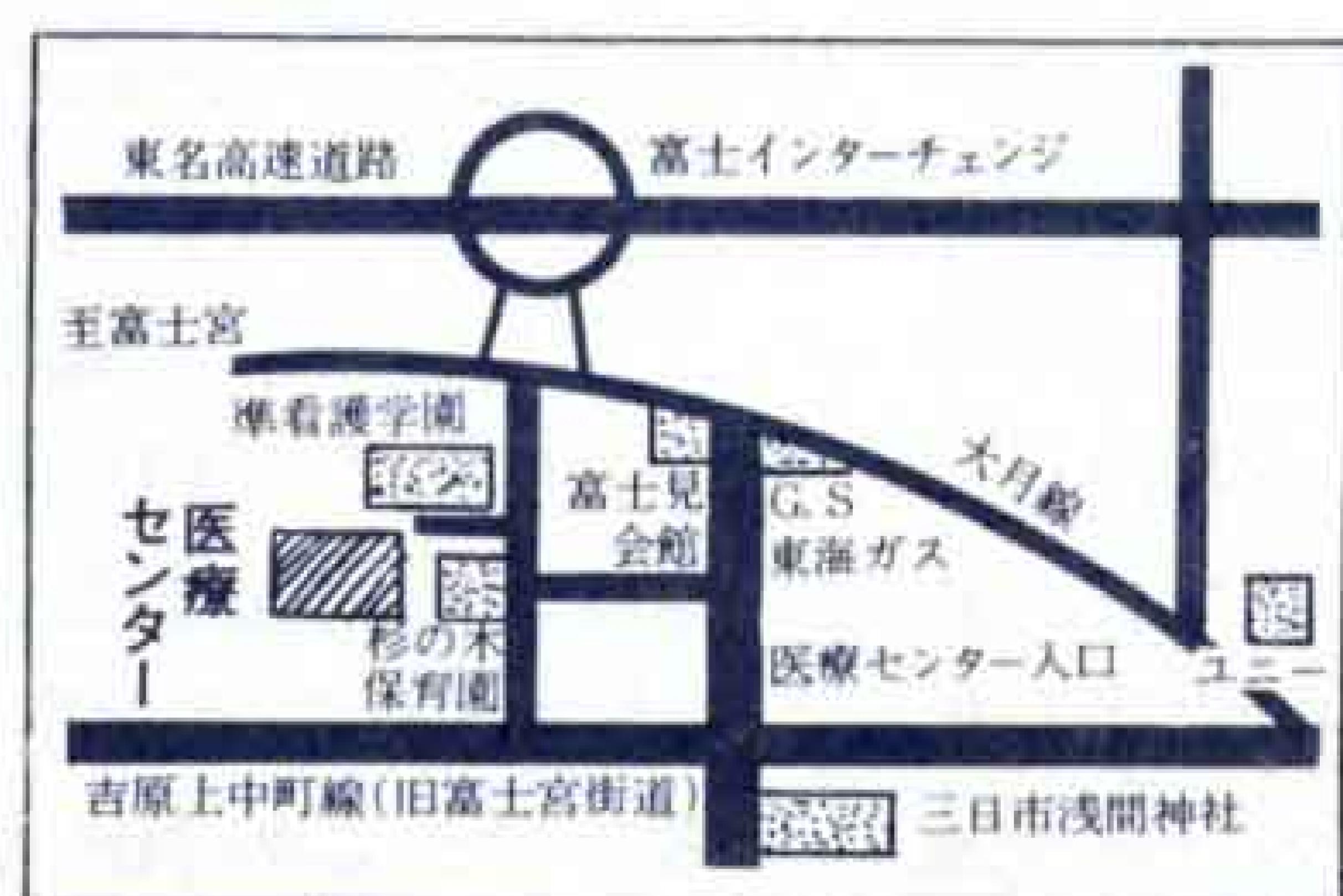
外科 中央病院(本市場 61-8800)
松本医院(久沢 71-2570)
産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

■4月30日

外科 中央病院(本市場 61-8800)
芦川病院(中央町2 52-2480)
産婦人科 窪田医院(平垣 61-3100)

*内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間

は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祭日以外は行っておりません。



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。